

大学の世界展開力強化事業（平成27年度選定）中間評価結果

大 学 名	○新潟大学、福島大学
整理番号	T-3
事 業 名	経験・知恵と先端技術の融合による、防災を意識したレジリエントな農学人材養成

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

（総括評価） A	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
（コメント）	<p>本事業は、様々な災害が多発する我が国と類似するトルコを対象に、新潟大学と福島大学が連携して、農業分野における共通課題である災害リスク等の多様な問題に柔軟に対応し得るグローバルな農業人材を育成することを目的としている。</p> <p>事業展開においては、トルコ側大学との大学間交流の枠組み形成も概ね事業計画に沿って実施されており、関連科目の新設や、国内2大学の単位を先方の大学が採用している ECTS（ヨーロッパ単位互換制度）単位へ単位互換するための仕組みを定めるなど、質の保証への取組も実施されている点は評価できる。更に、学生交流に関する多彩なプログラムの提供とともに事業運営で必要な組織体制が整備されていることから、今後に期待が持てる。</p> <p>トルコの政情不安から学生派遣の計画変更を余儀なくされたが、代替策として第三国において両国の学生が共に学習するプログラムを実施するなど、安全面に配慮した柔軟な対応がなされた点は、組織体制が十分に機能した結果として評価できる。</p> <p>一方で、トルコにおける非常事態宣言の影響もあり、専門知識や技能を有する人材育成に必要な不可欠な中・長期の学生受入が十分には実現できていないが、今後、代替策も視野に入れた十分な検討が望まれる。また、外国語基準が目標に達していないことから、日本人学生の語学力を伸ばすための方策について、更なる工夫が必要である。</p> <p>最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と、将来の我が国の更なる発展に向け、積極的な事業展開に取り組まれることを期待する。</p>